

設楽ダム連続公開講座 第9回とよがわ流域県民セミナー

平成24年7月28日から始まったこの講座も9回目を迎えた。これまでは下流の豊川流域に与える効果や問題がテーマとなっており、内容は設楽ダム建設を前提とした豊川水系河川整備計画の妥当性評価を通じた設楽ダム計画の妥当性議論であった。

今回は「ダムの設計と施工」、「ダムサイトの地質」をテーマとして、初めてダム周辺地域から見た設楽ダムという見地で主としてダム及び貯水池周辺の安全が議論された。運営の特色として質疑応答では専門的な内容がテーマになるのでこれまでの運営チーム委員に加えてコメンテーターとして河邑 眞／豊橋科学技術大学教授を起用していた。

ところで会場は設楽町田口の愛知県奥三河総合センター講堂で、名古屋から電車・バスを乗り継いで5時間近くかかってたどりついた。会場は田口の町並みを見下ろす高台にあって季節によれば良い所だろうが前日の大雪で会場までの道はぐちゃぐちゃ、足元を見て歩くので景観を楽しむ余裕はなかった。講堂は時計は壊れているし暖房も壊れていて石油ストーブが持ち込まれていたが防寒着は手放せなかった。しかし、参加者は85名で最近の平均的な人数が集まった。なお、計画ではサイドイベントとして設楽ダムサイトの視察が予定されていたが大雪のせいで中止となった。

次回は、3月21日（金・祝）13:00～16:30に愛知大学豊橋キャンパス「記念会館」小講堂（豊橋市町畑町1-1）で「ダムと地域振興」をテーマとして開催される。

昨年末に愛知県知事が既に建設同意をした現在、事業者の説明責任として行われる事業説明とどう違うのか聞き比べてみたらどうだろう。

